

1 市の概要

(1) 市の沿革

本市の歴史は、1619年（元和5年）備後10万石の領主となった水野勝成が、「福山」と命名したのが始まりといわれています。以来、城下町として整備が進められ、今日の礎が築かれました。

その後、1889年（明治22年）の市制町村制の施行により福山町となり、1891年（明治24年）の山陽本線開通などを契機に町の基盤が形成され、1916年（大正5年）7月1日には市制施行により人口32,356人の福山市が誕生しました。1933年（昭和8年）には隣接10か村、1942年（昭和17年）に隣接2か村と合併して市域を拡大しました。

1945年（昭和20年）の戦災では市街地の8割を焼失しましたが、市民の復興意欲と郷土愛によって、翌年から戦災復興事業に着手し、急速に復興を果たしました。

本市は、古くから地場の繊維産業を基盤とする地方都市でしたが、1956年（昭和31年）の隣接10か町村との合併以降、都市の基盤整備が進み、1961年（昭和36年）に単一工場としては世界最大といわれる日本鋼管（株）福山製鉄所（現JFEスチール（株）西日本製鉄所）の立地が決定し、1964年（昭和39年）には備後地区工業整備特別地域の指定も受け、わが国経済を担う重工業都市へと転換しました。

また、近隣地域との一体的な発展を目指し、1962年（昭和37年）に深安町、1966年（昭和41年）に松永市、1974年（昭和49年）に芦田町、1975年（昭和50年）に加茂町・駅家町との合併を実現しました。

1993年（平成5年）に福山地方拠点都市地域の指定を受け、1998年（平成10年）には中核市へと移行し、従来の権限と移譲された権限の総合的な展開により、市民サービスの向上と自主・自立を基本とした特色あるまちづくりを進めています。

全国的な市町村合併の進展の中、2003年（平成15年）に内海町・新市町、2005年（平成17年）に沼隈町、2006年（平成18年）に神辺町と合併し、都市基盤をさらに強固なものとし、現在、面積518.14平方キロメートル、人口約47万2千人の中国地方では4番目の都市規模となりました。



ばら公園



福山城（福山市立福山城博物館）

2007年（平成19年）に、市制施行100周年に向けた新たなまちづくりの指針となる第四次福山市総合計画を策定し、将来都市像「にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち 福山～」の実現を目指し、中国・四国地方の拠点都市として、拠点性と求心力を備えた都市機能の充実に取り組むとともに、本市まちづくりの基本理念である「人間環境都市福山」の実現に向けて全力で取り組んでいます。

(2) 市の現況

- 市制施行 1916年(大正5年)7月1日
- 市章 1917年(大正6年)7月1日制定



市章

市章の由来

福山城があるところは、もとは蝙蝠山(こうもりやま)と称していましたが、「蝠」は福に通じることから「福山」と称されました。その蝙蝠と山をかたどり、市章としたものです。

■市の花

- 「ばら」 1985年(昭和60年)4月1日制定
- 「キク」 2003年(平成15年)2月3日追加制定



■市の木

- 「せんだん」 1971年(昭和46年)11月10日制定
- 「クスノキ」 1995年(平成7年)10月1日追加制定
- 「モクセイ」 1995年(平成7年)10月1日追加制定
- 「ウバメガシ」 2003年(平成15年)2月3日推奨の木
- 「モッコク」 2003年(平成15年)2月3日推奨の木



■親善・友好都市

岡崎市(愛知県)

1971年(昭和46年)11月9日提携

ハミルトン市(カナダ)

1976年(昭和51年)10月4日提携

浦項市(大韓民国)

1979年(昭和54年)1月19日提携

タクロバン市(フィリピン)

1980年(昭和55年)10月19日提携

マウイ郡(アメリカ合衆国)

2008年(平成20年)5月17日提携



マウイ郡と親善友好都市提携

- 位置 東西 29.5キロメートル
南北 45.7キロメートル
 - 面積 518.14平方キロメートル〔2012年(平成24年)10月1日現在〕
 - 人口 472,220人
 - 世帯数 199,648世帯
- ※人口、世帯数は、2014年(平成26年)6月30日現在